



マップを使った旅行を 手助けするためのアプリ

石原史哉

旅行を安心安全に楽しくできるようにサポートする



初めての旅行、初見の店や、下調べをしていない場所に行く際の不安を解消する



- 2019年8月23日にソウル麻浦区で10代の日本人女性観光客の女性が髪の毛を掴まれた後に地面に殴りつけられて顔面を蹴られた暴行事件（sbs8news参照）



- 2020年3月6日に日本人女性2人が、通りがかりのパレスチナ人女性2人から暴行された事件（abemanews参照）



- 2018年5月28日にハワイのカカアコで日本人旅行者が現地の人に襲われる事件（khon2news参照）

近年日本人旅行者が被害に遭う事件を
ニュースで目にするようになった

2020年海外で起きた日本人の被害

海外渡航者数が3,174,219人

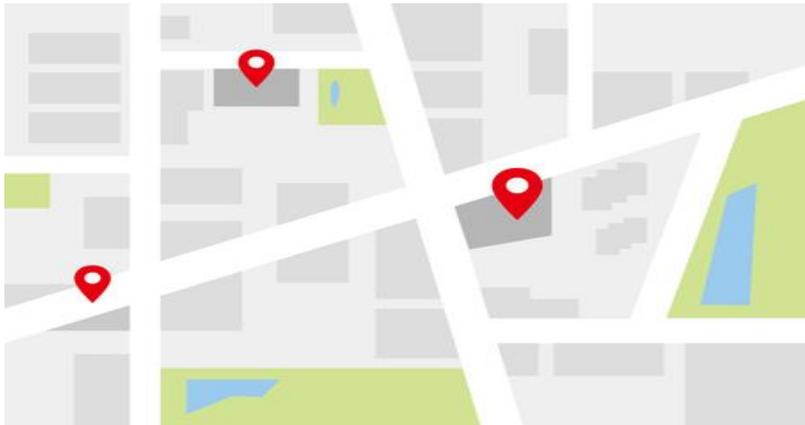
援護件数の総数が**14,771人**

援護件数とは被害に遭った人で大使館や総領事館に援助を求めた人の数なので実際には**被害にあった人はもっと多い**

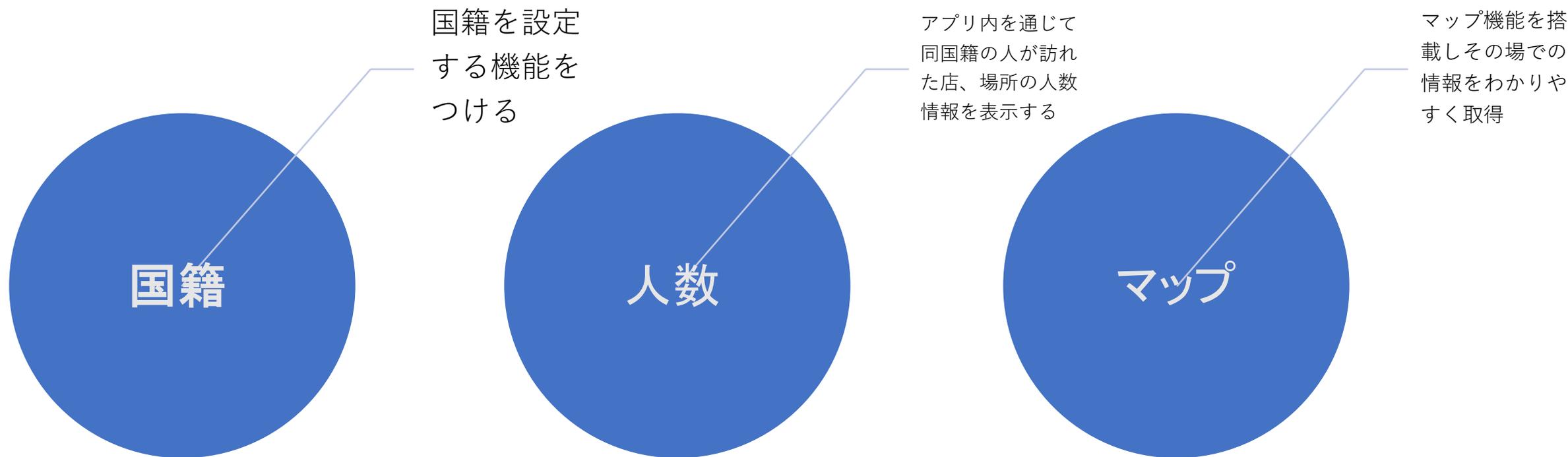
なので**約214人**に一人**以上**の日本人が海外で**被害**にあっている

何ができるか？

1. 同国籍の人のオススメの店や、どの場所に訪れたかをマップで表示
2. 訪れた場所で起きた過去の被害件数や情報を表示
3. 多言語対応

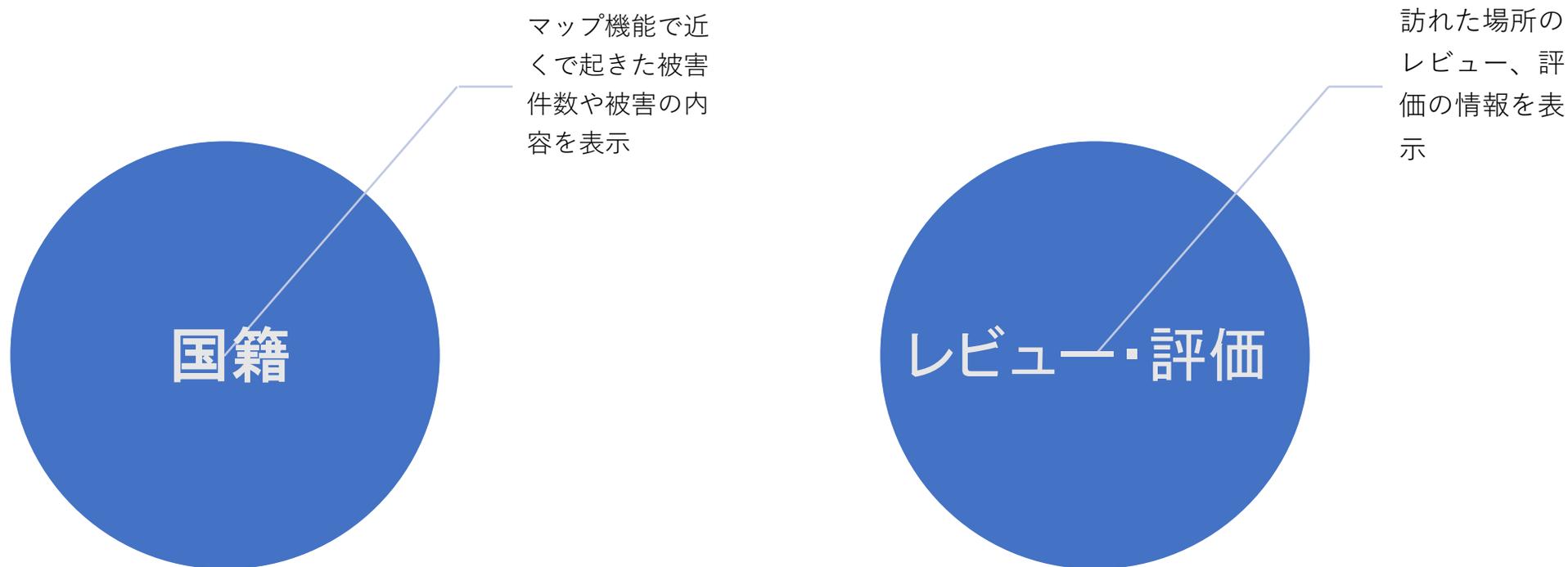


①同国籍の人のオススメの店や、どの場所に訪れたかをマップで表示



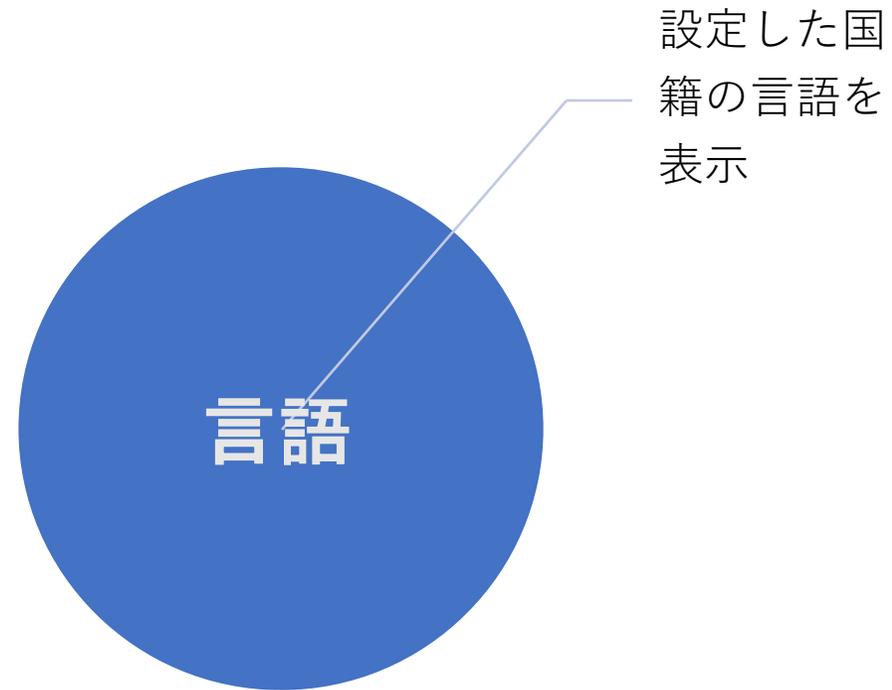
同国籍の方の情報のため安心して利用できる

②訪れた場所で起きた過去の被害件数や情報を表示



過去の被害情報や、レビュー、評価を表示することで、事前に対策や、その場所を避けることができる

③多言語対応



多言語対応することでいろいろな国籍の人も利用可能でサポートできる

A close-up photograph of two hands shaking. The hand on the left is darker-skinned, and the hand on the right is lighter-skinned. The hands are clasped together in a firm grip, symbolizing agreement, support, or partnership. The background is a plain, light color.

楽しいはずの旅行で犯罪や被害に
遭わないための手助けをしたい

課題

- 位置情報をONにしないと利用できない
- ストーカー行為などの被害に悪用される可能性がある
- 一般人がレビューや評価をできるため仕込みができてしまう
- 利用者が多くないと信憑性に欠ける

